

監事監査報告書

令和 5 年 4 月 20 日

認定特定非営利活動法人 自然再生センター

理事長 松本 一郎 殿

監事 河野 美江



澤 アツ子



私たちは、令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類に閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、報告書を確認し、また理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 活動（収支）計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、契約書も含め法人の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業計画に沿って、業務が執行されており、事業報告書の内容は事実であると認める。
- (3) 理事会は定期的開催されており、理事の職務執行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (4) 組織のミッションである多様な事業の情報収集を行い、企業との SDGs を実践する事業の新規展開の可能性を引き続き探ることを求める。
今年度は、特に大手企業二社との（Panasonic、富士通）プロボノでの成果品が優れていた。
- (5) 今年度は、認定 NPO 法人更新年度で、2028 年度までの認定を更新した。これに続き、認定 NPO 取得 10 周年記念寄付キャンペーンを成功させた。今後、理事会、事務局との一体となった事業展開を期待する。
- (6) 事業拡大に伴いコンプライアンスを強化する必要がある。引き続き、自然環境の包括的再生を基盤にした事業と組織運営の両輪で、地域の非営利組織を牽引していく法人になることを期待する。